



### 【1年生オリエンテーション合宿～次世代のリーダーへの入口～】

1年生のオリエンテーション合宿を4月28日(木)～30日(土)の日程で三浦ふれあいの村にて実施。このオリエンテーション合宿は、1期生から続いて行われており、6年間の教育活動の入口として大切にしてきた行事である。本行事の目的は、宿泊による共同生活を通して、基本的な生活習慣、集団生活でのルールやマナーを学び、お互いを理解し友情を育む。そして、学級学年の団結を深めることである。当日は、生憎の雨のスタートとなった。各自の荷物の他、キャンプファイヤーで使うスタントの用具などをバスに積み込みいざ出発！ふれあいの村では、28日まで宿泊していた相模原中等教育学校と入れ替えとなり、小学校で同級生であった生徒同士が再会を喜んでいる姿が見られた。

入村式では、オリ合宿の決意表明として生徒代表による挨拶、ふれあいの村からの諸注意と続き、合宿担当の深澤先生より一人ひとりの自覚と自律、共同生活に臨む心構えの話があった。一端止んだ雨も夕方には再び降り始め、雨の中の野外炊事(カレーの調理とご飯の炊き出し)となった。生徒は、火の係、ごはん係、カレー係にわかれ役割に応じて動き回っている。概ね2時間弱でカレーライスが完成し、山盛りのご飯の上にジャガイモやにんじんなどそれぞれの形をした食材が盛り付けられ、おいしそうに食べている生徒の顔には十分な満足感がにじんでいる。誰もが幸せになる瞬間である。あっという間にカレーライスをたいらげ炊事場の片づけ、その後係別会議、クラス会議と休むまもなく次のプログラムへと進んでいく。入浴が済み22時には消灯し就寝となった。

2日目。午前のウォークラリーでは、各班が決められた



コース(全部で4コース)を、コマ地図を道標としながら目的地を探し、得点を競い合った。途中、雨に降られながらも全員が何とかゴール。簡単に考えていた生徒にとっては厳しいプログラムとなった。早めの夕食後、18時からキャンドルファイヤー。生徒が入場し、開会宣言、そして「遠き山に日は落ちて」を全員で合唱した後、点火の儀式(火の神は校長)。いよいよ準備してきた各クラスのスタントの始まりである。それぞれ設定したテーマに基づき劇の発表があった。全員がスタントに関わり協力・団結して取り組んだ成果が出たと思う。最後は、校歌を合唱し終了。知らず知らずの内に団結力が高まっている。これまでの2日間の疲れも感じさせない元気な笑い声にたくましさを感じる。

3日目。学級目標の発表では、学級目標の設定にあわせて各自の目標を力強く発表。一人ひとりが平塚中等生としての自覚と覚悟を心に誓ったようである。閉村式では、ふれあいの村スタッフにお礼を伝え、バスに乗り込んで帰路となった。2泊3日と短い合宿ではあったが、「基本的な生活習慣・ルールとマナー・団結力」とした合宿の目的を自覚できる行事である。この行事を入口に、2年生のイングリッシュキャンプ、3年生の国内研修旅行、4年次の勉強合宿、5年次の海外研修旅行と続き、思いやりの心を持ち、自ら進んで未来を切り拓く意欲や行動力あふれる「次世代のリーダー」に育つことを期待したい。

